

社会貢献ファンド（適格機関投資家専用） ありがとう投信

Arigato Asset Management Inc

※弊社が組入れているファンドの中で、マーケットコメント等の提供があるものについて、直近の内容を掲載しております。

運用:朝日ライフ アセットマネジメント株式会社 <http://www.alamco.co.jp/>

基準日:2010年2月26日

マザーファンド株式組入上位5銘柄

	銘柄	コード	業種	構成比率
1	堀場製作所	6856	電気機器	3.9%
2	クラレ	3405	化学	3.5%
3	キヤノン	7751	電気機器	3.0%
4	ホンダ	7267	輸送用機器	2.9%
5	浜松ホトニクス	6965	電気機器	2.8%

※ 構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

<運用概況>

◆市場動向

2月の国内株式市場は、米国経済指標が改善を示す一方で、ギリシャの財政問題に対する不安などを背景に、一進一退の展開となりました。

◆運用方針

当ファンドの運用は、きわめてシンプルな原則に基づいて行われています。それは、株価ではなく価値に投資すること。収益構造が理解できない会社には投資しないこと。あくまでも長期スパンで成果を狙うことです。そして私たちにとって最良の投資機会は、多くの投資家の不安感が高まったときに到来すると考え、悲観的な相場環境の中で大胆に行動を起こしていきます。投資の合理性をひたすら追求したこのスタイルが、当ファンドの運用成果を支えています。

◆投資行動

投資の世界では、企業価値とはその会社の将来の収益性を指します。私たちは普段、将来の収益性が維持向上していくと考えられる価値の高い企業を調査発掘しています。しかし、いかに魅力的な銘柄であっても、それを通常の価格で投資していたのでは、投資家として十分なリターンを得ることができません。株式市場が冷え込み悲観的な状況の中で、価格が価値を大幅に下回る状態を忍耐強くひたすら待ち続けています。

◆運用成果と寄与銘柄

今月の社会貢献ファンドの基準価額は0.4%の下落となりました。保有銘柄のうち、堀場製作所、クラレ、アマダなどの株価上昇がプラスに寄与しておりますが、高砂熱学工業、KOA、デンソーなどの株価下落がマイナスに寄与しております。なお今月の社会貢献ファンドの組入銘柄数は65銘柄、実質組入比率は96.3%、設定来の基準価額は13.3%の下落となっております。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

◆今後の運用方針

株式投資で成功するには、将来の収益性が維持向上していくと考えられる、価値の高い銘柄を選ぶことが重要です。そして、その企業の将来について悲観が募り、投資家心理が冷え込み、価格が価値を大幅に下回るタイミングでお金を投じていきます。やがて悲観が過ぎ去り、相場が上向き、今度は過熱する手前で株式を手放して、投じたお金を手元に戻します。私たちはこれをリターンと呼びます。リスクにあふれる株式市場では、価格が価値を大幅に下回る状態を忍耐強く待ち続けることが必要です。例え、価格に対する基準が厳しすぎたために、投資機会を逃すことになったとしても、価値と価格に対するこの規律を冷徹なまでに貫くことが、危険から身を守り十分な収益を得る唯一の方法です。私たちは株式を、安く買って、高く売ります。

以上